

平成 22 年度 2次評価（基本施策評価）シート

|       |    |                         |                     |               |
|-------|----|-------------------------|---------------------|---------------|
| 基本施策名 | 60 | 市内各地域の特性を活かした分権型のまちをつくる | 評価責任者<br>(基本施策主管課長) | 企画課長<br>増田 基生 |
|-------|----|-------------------------|---------------------|---------------|

基本施策の現状分析及び意図

|                 |  |  |
|-----------------|--|--|
| 基本施策の体系         | 基本目標<br>政策   | 平等、分権・自治<br>たれもが輝くまちをつくる地域内分権のしくみ  |
| ① 市民意識調査結果      |  | <p>②左記結果に対する現状分析・市民との協議結果</p> <p>市民意識調査によると、本基本施策の必要度は全体の59.8%と平均よりやや高く、「今のままでよい」と回答した人は25.8%となっている。満足度は全体の48.7%と平均よりやや低く、そのうち「普通」と回答した人は46.7%を占めている。これは基本施策の分権型のまちづくりとはどのようなものか、一般的に認知されていないのがこのような結果に結びついたかと思われる。一方、まちづくりアンケート調査(満足度調査)では、本基本施策の生活課題である「市街地や中心部だけでなく、地域の特性を活かし、全体として地域が発展している」と思うかどうかのアンケート結果では、「不満足意識を持つ人」が全体の78.2%で、「満足意識を持つ人」の17.7%を大きく上回っている。過去3年間のアンケート結果の推移でも「不満」と答えた人は少しずつ増えている。居住地別でも全ての地域で「不満を持つ人」が70%を超えており、特に青山地区は87.5%が最も高い結果となっている。</p> |
| ③ 基本施策の現状と課題    | <p>①分権型のまちづくりに向けて、補完性の原則に基づき、市民や地域が自らの責任と主体的なまちづくりを進められており、市はこれらの活動に対して支援を行っている。②市民による主体的なまちづくりを進めるためには、「自分たちの地域は自分たちで」という住民自治の意識を高める必要がある。③「補完性の原則」の考え方や「住民自治」を実現するために定めた「自治基本条例」の見直し時期を迎えている。④各地域のまちづくりに対する様々な考え方があり、そのために、市民活動支援センターや支所が支援を行っている。⑤市民に開かれた誰もが使いやすい新庁舎の建設を進めるとともに、これを契機に、さらに本庁・支所の組織・機能の見直しを進める必要がある。</p> |  |
| ④ 基本施策の意図、今後の展望 | <p>地域の特性を活かした分権型のまちづくりを目指すために、①自治基本条例の見直し(改正、庁内勉強会、市民への周知)、②地域の特性を活かしたまちづくり活動を行う住民自治協議会への支援、③自治組織と行政の関係性の明確化、④協働のしくみづくりの検討、⑤本庁・支所業務の適切な見直しの検討、⑥新庁舎の整備 などを実施します。</p>  |  |

⑤基本施策指標の検討・設定

| 現状の課題、意図、今後の展望のキーワード | 考えられる基本施策指標候補            | 重点化 |
|----------------------|--------------------------|-----|
| 自治基本条例の見直し           | 庁内検討会の開催(伊賀市自治基本条例研究会含む) | 1   |
| 庁舎建設                 | 事業進捗状況                   | 2   |

| 基本施策指標名                    | 単位  | 過年度実績 |         | 評価年度    | 目標値 |     |     | ベンチマーク  | 指標の説明 |
|----------------------------|-----|-------|---------|---------|-----|-----|-----|---|-------|
|                            |     | H20   | H21     |         | H22 | H25 | H30 |   |       |
| 1 庁内検討会の開催(伊賀市自治基本条例研究会含む) | 目標  | 回     | 3       | 3       | 2   |     |     | 自治基本条例の見直しについては、自治組織と行政の関係性の方向ができれば、必要に応じ見直しをする予定 |       |
|                            | 実績  | 回     | 5       | 14      |     |     |     |   |       |
|                            | 達成率 | %     | 166.7   | 466.7   |     |     |     |   |       |
| 2 庁舎建設の進捗状況                | 目標  | %     | 20      | 20      | 40  | 100 |     |   |       |
|                            | 実績  | %     | 15      | 15      |     |     |     |   |       |
|                            | 達成率 | %     | 75.0    | 75.0    |     |     |     |   |       |
|                            | 目標  |       |         |         |     |     |     |   |       |
|                            | 実績  |       |         |         |     |     |     |   |       |
|                            | 達成率 | %     | #DIV/0! | #DIV/0! |     |     |     |   |       |
|                            | 目標  |       |         |         |     |     |     |   |       |
|                            | 実績  |       |         |         |     |     |     |   |       |
|                            | 達成率 | %     | #DIV/0! | #DIV/0! |     |     |     |   |       |

⑥基本施策構成事務事業の評価

|         | 担当課          | ID  | 事業名        | 改善余地の有無 | 事業費(人件費込、単位:千円) |         |           | 重点化 |
|---------|--------------|-----|------------|---------|-----------------|---------|-----------|-----|
|         |              |     |            |         | H21 決算額         | H22 予算額 | H23 所要額   |     |
| 1       | 企画総務部<br>管財課 | 96  | 伊賀市庁舎建設事業  |         | 8,048           | 166,035 | 1,818,384 | —   |
| 2       | 企画総務部<br>企画課 | 106 | 自治基本条例推進経費 |         | 7,523           | 4,592   | 3,690     | —   |
| 3       |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 4       |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 5       |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 6       |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 7       |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 8       |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 9       |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 10      |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| (以下 続紙) |              |     |            |         |                 |         |           |     |
| 事業費 合計  |              |     |            |         | 15,571          | 170,627 | 1,822,074 |     |

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な事業

| 事業名 | 事業主体 | 事業内容等 |
|-----|------|-------|
|     |      |       |
|     |      |       |
|     |      |       |

⑧ 基本施策の現状分析に基づく改革案の説明

| 評価視点                  | 評価コメント  |
|-----------------------|---|
| 1 基本施策指標の分析           | ①庁内検討会については、政策調整会議(小会議)8回、推進研究会(学識経験者、一般公募等)6回の開催により、平成21年度末で一定の見直し作業を終えている。②市庁舎建設については、平成25年度の竣工を目標に進めている。   |
| 2 事業構成の適当性(手段として最適か?) | ①まちづくりの基本方針やそれを実現するための自治のしくみを定めた自治基本条例は、市の最高規範として位置づけられており、本市独自の自治の推進や確立を目指すために重要な条例であることから、平成17年度策定した本条例の見直しは必要である。②本庁・支所の機能分担にも配慮しながら、誰もが使いやすい、市民の安心な暮らしを支える市の拠点施設として庁舎建設を進めるのは適切である。   |
| 3 役割分担の妥当性            | 自治基本条例では行政や市民の役割について明文化しており、その運用等の具体的な事項については、現在、検討中である。  |
| 4 総合評価(今後の展開、事業の見直し等) | ①自治基本条例の見直しについては、条例施行後4年以内に施行状況を御案・検討し、必要な措置を講ずるとされており、平成19年度からその作業を進めてきた。その結果、平成21年度末に見直し(案)が出来上がったものの、同時期に自治協等で組織された「自治組織のあり方検討会」から提言書の受け、現在、庁内で検討中であり、その検討内容によって、さらに条例改正の必要性が出てきた場合には、再度条例の見直しの作業に入る予定としている。②庁舎建設については、現在の場所で全面新築することで、今後事業を進めていく。 |